

介護職員初任者研修 シラバス

科目		科目特徴
1	職務の理解	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのように仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるよう学習する。
2	介護における尊厳の保持・自立支援	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を学ぶ。
3	介護の基本	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを学ぶ。介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点からの支援方法を学ぶ。
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について学ぶ。
5	介護におけるコミュニケーション技術	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なること、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限取るべき、あるいは取るべきではない行動例を学ぶ。
6	老化の理解	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。
7	認知症の理解	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則について学ぶ。
8	障がいの理解	障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的な考え方や介護における基本的な考え方について学ぶ。
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護について学ぶ。尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護知識や技術を習得する。
10	振り返り	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認するとともに、終業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成や学習課題の認識をはかる。